

富山市立堀川公民館

◆事業の目的

自然や歴史にふれることで、ふるさとの知識や愛着を深めるきっかけを作る。
このような体験を家族で継続してもらうため、親も参加して一緒に楽しく学ぶ。

◆事業の流れ

実施日	活動名	場所	参加人数
4月22日(日)	ふるさとめぐりウォーキング	周辺地域・富山市科学博物館	142名
7月25日(水)	富岩運河たんけん隊	富岩運河流域	74名

◆事業の様子

☆ ふるさとめぐりウォーキング



堀川公民館から富山市科学博物館までを歩いて往復した。
科学博物館では、プラネタリウムで春の星座について学んだ後、「とやま空間・時間のたび」のコーナーで、富山の昔の地形や生物の歴史、そして現在の多様な自然環境についての展示を親子で楽しく話しながら見た。
博物館からの帰り道では、早速公園や道端で春の花や虫を探しながら歩き、たくさんの花や虫の名前を覚えた。

☆ 富岩運河たんけん隊

環水公園(富山駅)～岩瀬浜を、堀川と山室のたんけん隊が環境船 sora 号とポートラムで往復。
堀川隊は環水公園から sora 号に乗って富岩運河を下った。
途中の中島閘門では、「水のエレベーター」を体験。運河の大切な役割を実感した。
参加者は船上では、鳥や魚、植物などを見つけたり、運河の環境に関する説明を聞いたりした。
海に近づいてくると、景色が変わり、汐の匂いがしてきたことを感じ、広い海が見えたときは歓声が上がった。
また、不二越高校生の指導で、リサイクル素材とモーターを利用して工作をした。
その後、山室の探検隊と合同で、北電ワンダーラボでエネルギーに関する3Dシアターを見たり、科学実験に参加したりし、エネルギーの大切さを学んだ。



(左)
環境船 sora 号
に乗って

(右)
高校生の指導
で工作

◆事業の成果と課題

富山の自然や歴史などにいろいろな面から楽しく接し、ふるさとの素晴らしさを体験できた。
当日はそれぞれの場所で職員やボランティアが指導や解説をしてくれた。それに加えて、常に行動を共にして虫・花・石などの自然の物や史跡などを見つけた時、その場で直ぐにそれについて子どもたちに話してくれるより詳しい人に同行してもらうことが、次回の課題と思う。
何気なく見ている生物に自然の素晴らしい仕組みがあり、身近なところに歴史があることを知った驚きや感動が、興味を持ち学び続けることにつながると思う。